成長期待企業のイチオシ！

中小企業支援ネットひょうごは成長性を見込んだ企業を「成長期待企業」として選定し、複合的な支援を実施。頑張る企業が誇る製品を紹介します。

航空機エンジン部品

株式会社ナサダ

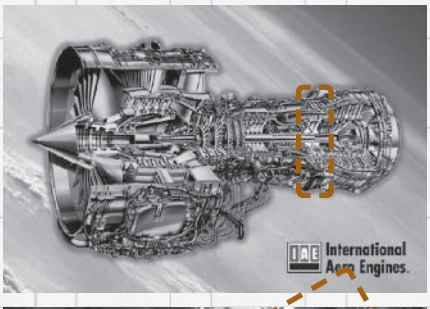
航空機需要の拡大をにらみ耐熱・耐圧性の高いエンジン部品を増産へ

発展途上国や新興国の経済成長などに伴う世界的な航空需要の増加により、航空機の増産基調が続いています。産業機械用部品を製造するナサダは、30年前に大手重工業メーカーから委託を受け航空機のエンジン部品の製造を始めました。2007年には航空・宇宙分野の品質保証規格であるJISQ9100を取得し、近年はその分野を重点的に開拓しています。

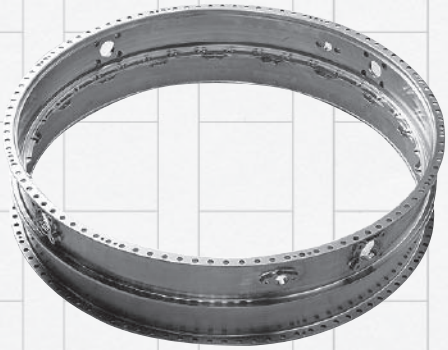
同社が手掛けるのは、航空機エンジンの中でもタービン燃焼部のインナーケースやアウターケースなど、最も耐熱・耐圧性が求められ、加工難度の高い部品です。旋盤や複合加工機を使って難削材のニッケル合金を50時間から200時間かけて余肉を除去しながら精密加工し、完成品へと仕上げていきます。加工中は数時間ごとにプログラムを変え、自作の工具を取り替えながらの作業になります。「いかに速く、正確に、コストを抑えながら製造できるかがポイント」と進藤茂實社長は言います。

現在はボーイング787やエアバスA350、三菱のMRJをはじめ各社の最新鋭機に組み込まれるエンジン部品の製造に注力しています。ひょうご産業活性化センターの実用化開発資金貸付を活用して複合加工機や検査機を導入し、生産をより効率的に進めるための新たな加工方法の開発も進めているところです。

航空機の需要予測は2013年の1万9,268機から20年後の33年には約1.9倍の3万6,769機に増えると試算されています。同社の売り上げのうち航空機が占める割合は現在35%ですが「3年後には50%に増やしたい」とのこと。生産が本格軌道に乗るまでは先行投資がかさむため大きなリスクも抱えますが「小型のリージョナルジェットから大型の広胴機まで幅広い機種に対応し、航空需要増のビジネスチャンスを捉えたい」と話しています。



V2500で同社製品が使用されている部分



V2500のエンジン・タービンケースを製造

◎株式会社ナサダの航空機エンジン部品

株式会社ナサダ／所在地：姫路市阿保甲1-1／**代表取締役社長：**進藤茂實
事業内容：航空機エンジン部品等産業機械用部品の製造
TEL 079-223-1765／URL http://www.nasada.co.jp/

編集後記

「元気企業訪問」に登場してもらった福苗をはじめ、JR竹田駅前に新しいお店が次々にオープンし、町が活気づいています。竹田城人気をブームに終わらせることなく、滞留してもらうまちを目指そうとする地元の熱気を感じました。

JUMP
明日へ飛躍する企業をサポート
ひょうご産業活性化センター通信
2015年5月号 平成27年4月30日発行
発行人：榎本輝彦　編集人：角　正憲
発行所 公益財団法人ひょうご産業活性化センター
URL http://web.hyogo-iic.ne.jp/
神戸市中央区雲井通5-3-1 サンパル6階
TEL 078-291-8526